

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度第2回牧区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

令和元年度上越市地域活動支援事業の決定について（公開）

## 3 開催日時

令和元年5月14日（火）午後6時30分から午後7時30分まで

## 4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：丸山進（会長）、西山新平（副会長）、飯田秀治、五十嵐正則、折笠弘志、  
金井貞子、佐藤祐子、清水薫、前山美智弘、渡辺喜一
- ・交通政策課：佐藤課長、塚田係長、町田主任
- ・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、岩野次長、宮腰グループ長、飯田班長、丸山  
班長、横田主任（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【岩野次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【丸山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

### 【山岸所長】

- ・挨拶。

【丸山会長】

- ・会議録の確認：五十嵐委員に依頼。
- ・本日は、次期総合公共交通計画についての報告のため、交通政策課の職員が来ている。報告を受けた後、本日の協議事項に移ることとする。それでは、交通政策課より報告をお願いします。

【佐藤課長】

- ・市全体におけるバスの交通ネットワークの考え方については、全体を主要幹線、幹線、支線に分けて、利用実態に応じた運行計画を検討していくこととし、昨年に牧区総合事務所から概略の説明をしてもらったところである。今回、昨年実施した利用状況調査を踏まえ、一定の方向性を出したので報告する。また、牧区の具体的な方向性については、牧区総合事務所から報告する。

－資料により説明－

【飯田班長】

－資料により説明－

【丸山会長】

- ・今ほどの報告に対し、質疑を求める。

【西山副会長】

- ・冬期間は宇津俣線の高尾へ抜ける道については、どのようになるのか。

【飯田班長】

- ・デマンド区間となっており、高尾と棚広新田から予約があった際に運行する。予約がない場合は、高谷・平山線を利用してもらうこととなるが、今後、詳細について検討していく。

【飯田委員】

- ・現状、バス路線の運行に係る上越市の負担が3億6千万円とのことであるが、再編することによって、どのようになるのか。

【佐藤課長】

- ・国から特例補助を受けているため、上越市の負担は3億6千万円で済んでいたが、今年度で補助制度が終了となる。今後は、補助金として得ていた6千万円を上越市が負

担することとなり、概算になるが4億5千万円程度が見込まれる。現状より負担が大きくなることはやむを得ないが、4億円程度に抑えられるよう検討していく。

【飯田委員】

- ・今年度で終了となる国の補助制度について、要望書等を提出して延長することはできないのか。

【佐藤課長】

- ・制度補助となっているため、不可能である。

【佐藤委員】

- ・以前、当該事業を担当していたことがあり、当時はスクールバス混乗の場合は、スクールバスとして地方交付税に算定されていたが、現状も変わらないか。

【佐藤課長】

- ・変わっていない。

【清水委員】

- ・県立武道館の建設地に、新路線の考えはあるのか。

【佐藤課長】

- ・新路線ではなく、現行路線の富岡線を一部変更して対応する検討を行っている。

【佐藤委員】

- ・当該事業は、来年度からすぐに実施する計画で進めているのか。

【佐藤課長】

- ・来年度を含めた8年計画としている。前半の4年間で13区全域にて実施していきたいと考えており、各区の合意形成を得て、順次進めていく。牧区については、来年度以降に対応したいと考えている。

【丸山会長】

- ・ほかに質問を求めるがなかったため、次期総合公共交通計画の報告を終了とする。

(交通政策課の職員退室)

- ・本日の協議事項について、事務局に説明を求める。

【丸山班長】

- ・－資料により説明－

【丸山会長】

- ・委員から質問を求める。

**【飯田委員】**

- ・第2回の審査結果により、傾斜配分額が100パーセントとなっても、予算を超えている場合は、減額しなければならないのか。

**【丸山班長】**

- ・傾斜配分後に予算を超えている場合は、一律減額することとなる。よって、第2回の審査結果により、傾斜配分額が100パーセントとなっても減額する。

**【渡辺委員】**

- ・提案団体によっては、減額されたことにより、当初予定していた内容での事業実施が困難となる可能性がある。このような場合の事業内容変更は可能か。

**【丸山班長】**

- ・減額に伴う事業内容の変更は認められている。今後、提案団体へ決定通知及び補助金申請書を送付するが、各種相談が寄せられれば、個別に対応していく。

**【清水委員】**

- ・今年度の決定に異議はない。来年度以降の審査方法になるが、大幅に予算を超える場合は、毎年事業提案を行っている団体等に遠慮してもらう等の対応が必要ではないか。

**【丸山会長】**

- ・来年度の事業実施に向けて、今後、改めて協議会の中で採択方針等について検討していくこととする。
- ・ほかに質問を求めるがなかったため、事務局提案の内容で決定することでよいか。

(一同、異議なし)

- ・それでは、本内容で決定し、総合事務所長へ報告する。
- ・先程、山岸所長から今年度予定している地区懇談会について話があった。昨年度は、各委員から全12会場のうち、2会場程度へ出席してもらい、各地区の課題や懸案事項等の把握に努めてもらった。今年度も実施したいと考えており、出席する懇談会については、1会場は各委員の地元地区とし、残りは昨年度と異なる地区へ出席する形式としたい。反対の意見等がなければ事務局に日程表を作成してもらい、日程変更等の調整は各委員同士で行うこととしたいがどうか。

**【渡辺委員】**

- ・懇談会の回数や場所は昨年どおりか。

【山岸所長】

- ・平成29年度に会場の見直しを行っている。今年度も昨年と同様の内容で実施する予定であるが、意見等があればお願いしたい。

【渡辺委員】

- ・昨年どおりで支障ない。

【丸山会長】

- ・ほかに意見を求めるがなかったため、今年度も昨年と同様の内容で各委員が地区懇談会へ出席することでよいか。

(一同、異議なし)

- ・続いて、連絡事項について、事務局に説明を求める。

【丸山班長】

- ・「地域協議会委員合同研修会の開催」について説明。
- ・吉川区地域協議会から提出された「吉川区における地域防災の在り方について」の意見書について説明。

【丸山会長】

- ・各委員については、積極的に「地域協議会委員合同研修会」へ出席願いたい。併せて、出欠票を6月14日までに、事務局へ提出してもらいたい。
- ・ほかに質問を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

## 9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：[maki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:maki-ku@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。